豊川市定例記者会見【平成２５年２月】

日時　平成２５年２月１３日（水）午前１０時
場所　豊川市役所　本３１会議室

市長あいさつ

おはようございます。皆さんちょっとこちらをご覧ください。インタビューボードにつきまして、新たにＢ－１グランプリのカウントダウン、市制施行７０周年、それから新市民病院の開院が加わりましたので、この場で披露させていただきます。

平成２５年度豊川市の予算案がまとまりましたので、発表をさせていただきます。

平成２５年度は、市制施行７０周年を迎える記念すべき年であります。そして、合併後の新豊川市では初めての節目の年となり、これを契機に、本市の更なる躍進を目指した予算編成を行ってまいりました。

経済情勢は、昨年末からの円安の進行や株価の上昇などを背景に、景気回復の期待感が高まっておりますが、一方では、海外の経済情勢の不透明感なども続き、景気は弱い動きを続けております。

さらに、政権交代の影響から、国の予算において大型補正予算の編成や新年度予算編成作業が遅れたため、国政の動向がつかみ切れないなかでの予算編成となりましたが、私の施策の柱としております「福祉と文化、そしてスポーツの盛んなまちづくり」を着実に推進するとともに、「将来を担う子どもたちが希望をもてるまち」の実現を目指した予算としてまいりました。

それでは、一般会計の状況でございますが、まず、歳入におきまして、前年度との比較では、根幹をなす市税全体では、個人市民税で、年少扶養控除の廃止の影響が平年度化されたことなどにより、１億円の増を見込み、また、法人市民税は、国の法人税の税制改正により減少要因があるものの、企業収益の好転が見られ、１億４千万円の増を見込んでいます。

次に、固定資産税については、土地と家屋の増により、１億９千万円の増を見込んでいます。市税全体では、６億８千万円の増となりました。

市税以外の費目では、地方交付税につきましては、国の地方交付税総額が減額となったことや本市の市税収入の増額などにより、１３億円の減を見込みました。

繰入金につきましては、前年度に新市民病院建設事業など大型事業があったことから、財政調整基金及び病院施設整備基金からの繰り入れが減少し、１８億３千万円の減となりました。

そして、市債につきましては、本市の基準としております４０億円以内に抑え、財政の健全化にも配慮してまいります。

続きまして、歳出につきましては、総合計画実施計画やマニフェスト工程計画による事業を中心に予算措置を行っておりまして、先ずは、主要事業としまして、「市制施行７０周年記念事業」及び「Ｂ－１グランプリ in 豊川」を開催してまいります。これらの事業は、シティセールスを進める上で大変重要な機会と捉えております。地域資源の掘り起こしや地域ブランド力の向上につながり、多くの皆さんに豊川市への「関心」や「愛着」をもっていただくものと確信しております。

また、この２大事業のほかにも、地震、津波、風水害対策、新市民病院の開院、子育て支援など様々な行政課題に、可能な限り対応した予算となっており、市民の安全・安心の確保や

将来を担う子どもたちへの施策に対し、予算の重点配分を行ってまいります。

　また、桜ヶ丘ミュージアム改修工事に着手するとともに、スポーツ振興基金の積み立てなど、私が施策の柱とする文化とスポーツに対しましても、力を注いでまいります。

　以上、予算案の重点部分を簡単にお話しいたしましたが、一般会計の予算総額としましては、５４６億１千万円となり、前年度に比べ３１億９千万円、比率にして５．５％の減となり、金額的には大きく減っておりますが、本市に活気をもたらし、魅力あふれる事業が数多く計画されております。

　最後に、予算総額の語呂合わせを考えてみますと、数字が「５」「４」「６」「１」ですので、

　ご（５）りやく　よろ（４６）しく　い（１）なりん

としました。

私からは、これで終わりますが、予算案の詳細につきましては、担当から説明させますので、よろしくお願いいたします。

内容

（１）　平成２５年度豊川市予算（案）について（財政課）

（２）　その他資料提供

・第５次豊川市総合計画実施計画（平成２５年度～平成２７年度）について（企画政策課）

その他